

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催日時・場所

日時	令和 2年7月10日13時30分 ~ 14時	場所	医師会館理事長室
----	------------------------	----	----------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	牛久保西町内会 会長
井澤 一成	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司 (欠)	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
斉木 和夫	当該サービスに知見を有する者	斉木クリニック 院長
小林 雅子 (欠)	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
小川 憲章	当該サービスに知見を有する者	小川メディカルクリニック 院長
栗山 慶美	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
大山 学 (欠)	法人代表	
吉井 涼子	管理者	
宮島 佳代	看護主任	
石濱 千秋	計画作成者	
箕輪 善果	看護リーダー	
朝比奈 ゆかり	介護主任	
青柳 かおる		
後藤 瑞佳	事務	
上條 由佳	事務	

4. 活動状況報告

別紙(様式2~4)のとおり

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

1)事業所評価に対する意見について

(1)採用時の介護職員のマニュアルの活用状況を教えてください

・個別の指導ファイル「オレンジファイル」を使って、職員の個人目標、事業所からの期待目標、個人目標に対する個人の学び方策などを面接をしながら決めている。昨年度、介護マニュアルを完成させたが、その使用方法について職員間で共通認識ができていないので、活用方法を具体的にしていきたい。

(2)地域住民への周知活動は、フレイル対策など検討してください

新型コロナウイルス感染防止の観点から研修会に限らず実施方法を工夫してください

・この2点について、現在、具体的には企画していないが、堀元先生に歯科医師として実際に力をお借りし企画したい。

(3)計画を内容の共有についてはカンファレンスを使わず、文章で共有するなどが良いのでは。

・看護職が計画を作成し、更新している。看護職が立てているので介護職との共有が出来ていない。皆で共有していきたいが、コロナ前には、カンファを毎日行っていたが、コロナでカンファレンスを中止していた。最近は週2回開始している。重症者のことなど一部しか話し合えないが、文書で共有をしていく。

2)令和元年度の収支報告について

(1)大雑把にはバランスとれているんだね。全体的には健全に経営されているね。

・予算収入は、登録者月20名で立案、実績は14名/月だったが、医療保険収入が、1件単価が5万円くらい多くなり、見込みより増えた。また、予定していた雇用を得られず、支出も減ったため、バランスはとれた。

(2)収支決算、厳しいですね。月の登録者17~20名は確保してもらいたい。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

上記、5. 活動状況に関する評価・意見・要望 と一緒に記載

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況

登録者数(6月 30日現在)	女性 7名	男性 6名	計 13名
-----------------	-------	-------	-------

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	0名	1名	1名	3名	8名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者 (匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	21	0	0	1 (訪問看護回数)
イ	9	0	30	2
ウ	9	0	0	4
エ	25	20	37	7
オ	10	1	42	1
カ	9	0	9	5
キ	30	25	8	3
ク	27	23	22	83
ケ	26	22	8	4
コ	22	18	4	62
サ	10	0	0	4
シ	10	0	28	0
ス	18	18	0	57 死亡:6/19
セ				
ソ				
タ				
チ				
ツ				
テ				
ト				
ナ				
ニ				
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				
ヘ				
平均	17.4	9.8	14.46	

4. 運営方針

事業所の目標	(法人の理念、長期目標、月間目標など) 【利用者の獲得】1.適切な職員の確保と黒字転換 2.「ケアの理念」の実現 「ケアの理念」:その人の「生きる」を支える。寄り添い、理解し、尊重する
目標に向けた 具体的取組	1.求人活動と既存の職員が充実した仕事ができ辞めないようにする 2.三蜜にならないような情報の共有を行う 3.利用者や家族の意向を反映した多職種でのケアプランの作成と共有を行う 4.地域に向けた研修計画の実施

5. 活動報告

<p>【3月】・運営推進会議中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員3名 小学校休校により勤務の調整を行った ・看多機施設への入室制限開始 (入室時は体温測定、マスク装着、手洗い、消毒) <p>【4月】・コロナ対応のため、通所の回数を減らすように調整した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染予防対策マニュアル作成 ・職員の風邪症状1名9日間自宅待機、職員2名小学校休校による勤務調整 <p>【5月】・運営推進会議 書面会議で返信をもらった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の発熱者、予防着・フェースマスク・マスク・プラテ着用で対応 ・職員1名、微熱と風邪症状にて9日間自宅待機とした ・職員1名 小学校休校により勤務の調整を行った <p>【6月】・利用者のサービス利用数を以前に戻した</p>

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	<p>【経過】当該利用者は、気管切開をしており、気管カニューレから喀痰喀出も可能だが、頻回に自己吸引をしている方だった。朝8時の訪問の際に、吸引器のセッティングができていないことに気づかず退室してしまった。次の訪問時に本人から「助けて、吸引できない。」と訴えあり、吸引器を確認したところ、陰圧ホースがセットされていなかった。手元に緊急コールボタンは置いてあったが、パニックの状態でもコールすることまで考えられなかったとのこと。セットしなおし、直ぐに吸引を実施した。こういう時は緊急コールをしてほしいと伝えると、手元に緊急コールボタンは置いてあったが、パニックの状態でもコールすることまで考えられなかったとのこと。</p> <p>ご本人の気持ちが落ち着くのを待ち環境を整え、歩行訓練の訪問だったが、夕方に再度、訪問することとした。</p> <p>【原因】当該看護師は、これまでも複数回訪問をしており、その際は吸引器の作動確認まで行っていた。</p> <p>今回は、「他にこの時間でやるべきことを忘れていないか」を気にして、吸引瓶洗浄し瓶を戻した後に、台所にある訪問内容が記載された用紙を確認に行き、セッティング作業と動作確認作業を忘れた。</p> <p>重要度の高い吸引ケアに意識が向いておらず、危機管理ができていなかった。</p>
改善策	吸引が生命にかかわることを意識しケアに取り組む。吸引瓶洗浄後は、一連の流れとして、必ず作動確認まで行う。

内容	<p>【経過】利用者2名の経管栄養準備をしている時、利用者の薬剤を混ぜてしまった。薬剤内容と氏名を2名で確認後、一人目の薬剤を懸濁ボトルにいれ終了した。二人目の薬剤の封をカットするため、はさみを取り出そうとしたが、入浴介助後でユニフォームが異なり、ズボンのポケット入り口に引掛かかり取り出せなかった。やっとはさみを取り出し薬剤袋をカットした後、一人目の懸濁ボトルに、二人目の利用者の薬剤も入れてしまった。</p> <p>【原因】ルールを怠り、一人目の懸濁ボトルに薬剤を混ぜた段階でふたをせず、準備終了した籠と準備中の籠を並べておいていた。更に薬剤と栄養ついて上司に確認をしたいことがあり、会話をしながら準備した事、はさみが直ぐに取り出せなかったことなどで、注意力が散漫になっていた</p> <p>【対応】混ぜてしまった薬剤は破棄した。利用者2名とも薬剤の予備を持参していたので、昼の薬は注入できた。主治医に報告し次回の処方で数量の調整をお願いし、家族には、謝罪と対応内容を連絡帳に記載し、送迎時に口頭でも伝えた。</p>
改善策	マニュアルの確認をして、マニュアルに則り実施する

7. 地域への情報提供

特になし

8. その他特記事項

4月～6月で職員3名雇用あり、うち常勤2名(介護福祉士1名・初任者研修修了者1名)、非常勤1名(ヘルパー2級)
